

《OPERA鑑賞会 第4回》

歌劇「魔笛」(映画版)

音楽：ウォルフガング・アマデウス・モーツァルト
音楽監督：ジェームズ・コンロン
演奏：ヨーロッパ室内管弦楽団

【出演】

ジョセフ・カイザー (タミーノ)
エイミー・カーソン (パミーナ)
ルネ・パーペ (ザラストロ)
リューボフ・ペトロヴァ (夜の女王)
ベンジャミン・ジェイ・デイヴィス (パパゲーノ)
シルヴィア・モイ (パパゲーナ)
トム・ランドル (モノスタトス)



《あらすじ》

第一次世界大戦の最中、毒ガスにより気絶した兵士タミーノ(ジョセフ・カイザー)の命を、夜の女王の侍女である三人の従軍看護婦が救う。看護婦が去った後に目を覚ましたタミーノは、偶然居合わせたパパゲーノ(ベン・デイヴィス)が命の恩人だと勘違いしてしまう。調子に乗って話を合わせていたパパゲーノは、再び登場した看護婦達に、懲らしめられてしまう。看護婦達はタミーノに、女王の娘パミーナ(エイミー・カーソン)が暗黒卿ザラストロ(ルネ・パーペ)に捕らわれたことを伝え、その救出を依頼。更には女王自らタミーノに魔法の笛を贈り、娘を取り戻して欲しいと懇願する。タミーノとパパゲーノは、パミーナを救うために旅立つことを決める。パパゲーノは、ザラストロの城塞に侵入し、パミー

ナに女王の元に戻るよう説得する。一方、タミーノは、一人の男に城塞に迎え入れられる。タミーノは、男と長い間、語り合う。そして、ザラストロこそが平和を望み、そのために立ち上がった指導者であり、今、自分と話をしている男こそがザラストロ本人であることを知る。ザラストロは、パミーナを解放。タミーノとパミーナの愛を確かなものにするための試練を与える。それはまた、平和な世界を得るための試練でもあった。本作は、モーツァルト生誕250年に合わせて作られた。

「実写とCGを組み合わせた巧みで見応えのある映像は、映画「ハリーポッターシリーズ」を連想させます」

日時 / 6月14日(日) 13:30~16:00
場所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール
発表者 / 佐藤 久男・清水 俊一
参加自由・入場無料

問い合わせ / 04-7184-3771 佐藤 <http://www.aafc.jp/>